

ぬくもり

肌のぬくもりある医療 宇佐高田医師会病院



私達は笑顔を大切にします

2008.10.25.発行

No.14

C・O・N・T・E・N・T・S

- 赴任のごあいさつ 2
- 新型インフルエンザ対策について 3
- 供養盆踊り大会 4
- 医事統計総括表 4
- N S T 委員会よりお知らせ 5
- おおいた国体ボランティア 6
- リストバンド装着のお願い 6
- 学会・研修会等報告 7
- 新入職員紹介 7
- 禁煙のすすめ 7
- 外来担当医師一覧表 8

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635 TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307 <http://www.utihp.jp/>



おおいた国体相撲会場（宇佐市）

赴任のびょうりゃく



統括診療部長
副島 和典

関係者の皆様こんにちは。私
10月1日付で医師会病院循環器科
に赴任いたしました副島（ソエジ
マ）と申します。今回が2回目の
赴任となります。私は昭和56年長
崎大学卒業後に派遣医として、昭
和58年7月1日より60年12月31日
まで当院に所属しておりました。
病院は設立から未だ2年を経過
したばかりの時で建物もスタッフ
も若い？頃でした。（今も人は若
いと思います！）無茶な事（内容
はとも文書に残すことは出来ま
せんが・・・）も皆でよくやった
記憶があります。その後は宇佐か
らお江戸へ上り、蝦夷地へ渡りそ
して、信州に行き、更にフラフラ
と移動、そうこうして四半世紀近
くが経ちました。

昨年より信州諏訪で定住計画を
立て、正に動き始めようとした今
年1月に宇佐からお話が舞い込み
ました。数日後には中島院長と23
年振りにお会いし、その後家内と
二人、宇佐を訪問しました。懐か
しい人達と話をした頃には、私の
心は揺れ始めていました。でもこ
れは私1人だけの事でありまし
て、家族ではあっても心は決して
同じでは無く、悩んだのも事実で
あります。家内、息子、娘の理解
を得て宇佐へ来る事が出来まし
た。この点は非常に感謝していま
す。

さて抱負と申しますか、重きを
置いて考えている点に付、述べさ
せて戴きます。

①循環器医療、救急医療

これは当院の最重要課題の一つ
です。今まで心疾患の治療に対
し医師2名体制で頑張ってきた
ましたが、これでは限界があると
考えています。3名以上の人員
を確保し、余裕のある体制で臨

むことで、様々なリスクも回避
し得ると思えますし患者さん、
医療者双方にとって安全かつ、
安心の循環器医療、救急医療が
行い得ると考えます。
また、今後は従来の冠動脈疾患
治療に加え、末梢血管や透析
シャントの治療も開始する予定
です。

②救急蘇生（ICLS、ISLS等）、外 傷救護（JPTC等）のコース開催、 受講

当院が循環器医療、救急医療、
災害医療を担うとすれば、医療
者を始め消防等との共通言語と
も言える標準化された手順、手
技を学ぶ事は重要です。

これらのコース（一種の体を
使った勉強会です）を開催した
り、受講したりすることで、更
にレベルアップを図れば、と
思います。

③一般住民への救急蘇生の浸透

当地は広い地域に人々が暮らし
ています。これは逆に何かあつ
た際、救急車が到着するまで時
間を要する場合があります。時
間を要する場合があります。特に心肺停止に
陥った方は一刻も早い処置が必

要です。つまり近くにいる人の
処置が非常に大切になります。
そんなに難しい事ではありません。
消防署等と連携して広く普
及をしていきたいと考えていま
す。

以上思いつくままですがご挨拶
に代えさせて戴きます。
今後とも何卒宜しくお願い申し
上げます。



『宇佐・高田地域における新型インフルエンザ対策について』



院長
中島 仁典

新型インフルエンザ発生が危惧されていることは、皆さんもマスコミ報道などでよくご存知のことと思います。

しかし、実際に患者さんが発生したときに、どうしたらよいのか、地域の医療体制はどうなっているのかなど、不安な事も多いと思います。今回は当地域での新型インフルエンザ対策に関する医療体制について、簡単にお知らせさせていただきます。

基本的に、①海外で患者発生～県内で少数の患者発生が確認される期間（県内で隔離入院が必要な患者数が40人から50人程度）と、②それ以降の県内でも大流行になった場合は、少し、医療体制が異なっています。

とくに発熱外来につきましては、名称は同じですが、大流行になる前までは宇佐高田医師会病院だけです。大流行後では、さらに下記の7医療機関が加わって対応する体制になっています。また、大流行後は原則として発熱外来以外の医療機関では、新型インフルエンザの感染が疑われる患者さんの診察・治療は行われなくなりますので注意が必要です。

①の場合（海外発生期～県内発生期）

新型インフルエンザの感染が疑われる発熱患者、もしくは、当該患者を診察した医療機関の医師

📞 電話で相談

北部保健所（発熱相談センター）

📍 新型インフルエンザが否定できない場合

発熱外来（初診対応医療機関、県内16ヶ所指定）
（宇佐・高田医療圏では、宇佐高田医師会病院が担当）

🏥 新型インフルエンザ疑似症と診断した場合

感染症指定医療機関（県内8ヶ所）に隔離入院
（宇佐・高田医療圏では、宇佐高田医師会病院が指定されています）

今後、発熱外来設置医療機関への医師会からの個人防護服の配布、さらに各医療機関の実情に即した医療体制の検討を行い、当医療圏において新型インフルエンザ発生時における適切かつ効率的な対応が出来るように訓練を行っていく予定です。

地域住民の皆さんにも訓練の様子を見ていただく機会を持ちたいと計画中です。

②の場合（県内大流行期）

新型インフルエンザの感染が疑われる発熱患者

📞 かかりつけ医に電話で相談し、最寄りの発熱外来を受診

発熱外来を設置した医療機関、県内50～60ヶ所
（宇佐市では、宇佐高田医師会病院、宇佐胃腸病院、宇佐中央内科病院、佐藤第一病院、和田病院）
（豊後高田市では、高田中央病院、玄々堂高田病院、千嶋病院）



供養盆踊り大会

8月30日（土曜日）午後7時半より、当院の3階駐車場にて、当院親睦会主催の供養盆踊り大会を行いました。

最初に、宇佐市医師会の徳光会長（宇佐高田医師会病院理事長）よりこの一年間当院でお亡くなりになられた物故者、ご遺族に対し追悼の言葉が捧げられ、参加者全員で黙祷を行った後、供養盆踊りを始めました。

今年も、伏田地区の区長様を始め近隣の区長様、地域住民の皆様のご協力により、たくさんの方に参加頂き、二重の大きな踊りの輪が出来、大変よい供養ができました。

また、私たち親睦会役員が予想していた以上に多くの子



親睦会 会長
吉田 茂樹

供さんたちの参加があり、子供用のうちわを100個用意していましたが足りませんでした。子供さんたちにも喜んでいただける様ラムネを準備し、輪投げを楽しんでもらい、どちらも盛況のうちに終わりました。そして今年も宇佐市医師会のご協力により、子供用のおもちやも配布することが出来ました。

今回の供養盆踊り大会を通じて、当院は地域の皆様に支えられている病院だということとを改めて実感しました。来年以降も供養盆踊り大会を続けたいと思います。その際は皆様方多数のご参加ご協力を宜しくお願い申し上げます。



■医事統計総括表

平成20年度（7月～9月）

	7月		8月		9月		
	19年度	20年度	19年度	20年度	19年度	20年度	
外来患者延べ人数 (人)	1,895	1,778	1,916	1,513	1,687	1,576	
1日平均入院患者数 (人)	97.7	94.4	89.9	79.3	91.0	82.6	
科別内訳	循環器	19.0	18.3	13.6	11.1	12.4	8.4
	消化器	23.7	24.0	18.6	25.2	22.5	22.3
	外科	39.2	28.8	31.5	24.0	30.2	27.8
	呼吸器	15.7	23.3	26.1	19.1	25.9	24.1
平均在院日数 (日)	19.6	17.5	17.0	18.1	17.3	16.5	
病床利用率 (%)	88.8	85.8	81.7	72.1	82.7	75.1	
紹介患者数 (人)	250	350	312	337	263	334	
患者紹介率 (%)	70.2	89.5	67.5	89.0	70.3	85.4	
救急車搬入件数 (件)	56	82	84	59	56	33	

NST委員会よりお知らせ

当院では、胃ろう造設目的で入院された患者様や、すでに胃ろうを造られて交換に来られた患者様に胃ろうケアハンドブックをお渡ししています。

今回は当院オリジナルの胃ろうケアハンドブックのご紹介をさせていただきます。



※胃ろうとは？ → 【第2の口】 お腹のお口です。

病気のために口から十分な食事が出来ない時、胃カメラを用いた簡単な手術でお腹（胃）にチューブを入れ、そのチューブを通して栄養剤を入れます。

このチューブの入った穴を「胃ろう」といいます。この手術のことをペグ (PEG) といいます。手術は簡単で10～15分程度で終わります。

胃ろうチューブは定期的に交換する必要があります。(当院で交換する場合、4ヶ月に1回です) 口から十分な食事が摂れるようになれば、胃ろうチューブを抜くことができます。抜く時は数分で終了し、抜いた穴は1日程度でふさがります。

●胃ろうを造られる患者様のスケジュール (胃ろうケアハンドブックより一部抜粋)

	胃ろう造設前日まで	胃ろう造設当日	胃ろう造設翌日～ 胃ろう造設後3日まで	胃ろう造設後4日～ 胃ろう造設後10日頃 (退院まで)
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養剤注入 ・楽しみ程度の食事 ・点滴での栄養投与 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶食 ・点滴での栄養投与 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶食 ※注 ・胃ろうよりGFO・お茶注入 ・点滴での栄養投与 	<ul style="list-style-type: none"> ・胃ろうより栄養剤・お茶・お薬注入 ・点滴終了
説明・指導	<p>医師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃ろうについて ・胃カメラについて ・安全のための身体抑制 ・各種同意書記載 	<p>医師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃ろう増設後 ・手術結果 ・創部治療予定 <p>看護師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創部・チューブの保護について ・創部の痛みの対処について ・安全確保の身体抑制について 	<p>看護師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創部の消毒・清潔について ・胃ろう使用方法・栄養剤注入時の注意点 ・チューブ内清潔を保つためのお茶の注入について ・はみがき・口腔ケアの重要性について <p>ご希望時お申し出下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師より服薬指導 ・栄養士より栄養指導 ・看護師より生活指導 	

標準的な治療計画です。予定が変更になる場合もあります。

※注 G F O・・・腸の機能を活性化するための栄養剤

現在当院では、胃ろうからの栄養注入剤として半固形栄養剤を使用しています。

半固形栄養剤のメリット

- ・胃・食道の逆流の防止や刺入部（瘻孔）からの逆流の防止につながり、誤嚥による肺炎を防止します。
- ・下痢や便秘が解消され、スキントラブルを防止します。
- ・注入の時間が短縮されるため、同じ姿勢での拘束時間が減り、褥瘡の予防につながります。
- ・家族、介護者の労働力を軽減します。

栄養剤注入方法などわからない点があればお気軽にご相談下さい。 NST委員会



おおいた国体に ボランティアとして 参加しました



第63回国民体育大会チャレンジ！おおいた国体（10月5日（日）宇佐市開催の相撲競技）に当院の親睦会より9名がボランティアとして参加させて頂きました。

当日私たちは、駅案内係、接伴係、環境美化係、交通整理係に分かれ微力ながらお手伝いをさせて頂きました。私は交通整理係を担当させて頂いたのですが、雨天にも関わらず、たくさんの方々が来場して下さったお陰で駐車場も一杯になり、大忙しでした。相撲人気と、民泊などで協力された地域の皆様の応援団の多さに驚きました。

一日だけのボランティアでしたが、来場頂いた方から「最悪な天気の中大変ですね。頑張ってください。ありがとう。」など温かい声をかけて頂いたり、地域の方をはじめ、他県からの方や、大会関係者の方と交流が持てたことは大変貴重な経験となりました。

ボランティアとして動き回る中、大変気持ちいい汗（雨？）をかく事ができ、活動を終えた後は、すがすがしい気持ちで帰ることが出来ました。またこのような機会があれば参加したいと思えます。

親睦会会員 宗 幸宏

医療安全に対するご協力をお願い

～リストバンド装着のお願い～

当院では、平成20年10月14日より、患者さまの確認をより確実にすることを目的に、入院に際し、皆さまへ、リストバンド（識別バンド）の装着をしていただくことになりました。

リストバンドには、患者さまの名前・ID番号・性別・生年月日・年齢を記載いたします。

入院治療中、医師・看護師・薬剤師・放射線技師など多くの医療従事者が関わります。採血や点滴・輸血・投薬・手術・処置などにおいて、患者さまの確認をより確実にすることを目的に着用をお願いするものです。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

入院時に担当看護師が、記載内容を患者さまやご家族の方と確認の上、手首（または足首）に装着いたします。

宇佐高田医師会病院 病院長



学会・研修会等報告

○全国看護協会社会経済福祉担当者会議大分県看護協会として報告

9月3日(水) JNAホール(東京都)
 「中小規模病院における大分県看護協会の役割」
 総看護師長 柳田 美雪

○第4回病院教育委員会職員研修会

平成19年度院内委員会活動報告等
 7月16日(水) 大研修室にて

- ①医療安全管理対策委員会
 安全への道Ⅵ 事故ゼロを目指してインシデント
 集計 安全ラウンド 転倒転落についての調査・分析
 放射線部 放射線技師長 西岡 浩
- ②院内感染対策委員会
 当院の抗菌薬使用状況
 薬局 主任薬剤師 国東 秀次
- ③褥瘡対策委員会
 褥瘡発生患者と持ち込み患者の統計
 4階病棟 看護師 安部香奈子
- ④診療録管理委員会
 電子カルテ稼働に伴う業務改善
 ～アンケート調査からの考察～
 中材・手術室 看護師 久保志津子
- ⑤病院機能評価受診について
 院長 中島 仁典



○病院機能評価受審に向けての勉強会

7月18日(金) 大研修室にて
 講師：(株)エム・アイ・ファシリティズ
 植波 孝仁先生

○NST研修会

8月22日(金) 大研修室にて
 講師：湯布院厚生年金病院リハビリテーション部技師長
 森 淳一先生
 「摂食・嚥下・口腔ケアについて」



○院内感染対策研修会

8月28日(木) 大研修室にて
 講師：アルフレッサファーマ(株) 安土 正先生
 「洗浄・滅菌・払出し・保管の運用について」

○NST研修会

9月17日(水) 大研修室にて
 講師：(株)シノテスト 橋本 寛喜先生
 「亜鉛を中心とした微量元素について」

■ 新入職員紹介



まつなが つよし
松永 剛

- ① H20・7・7
- ② 病棟看護師
- ③ 患者さまに笑顔で接していきたいです。
- ④ 釣り・庭いじり



むらおか せいこ
村岡 聖子

- ① H20・10・1
- ② 病棟看護師
- ③ がんばりますのでよろしくをお願いします。
- ④ 手芸・読書・釣り



なかこうじょうこ
中小路陽子

- ① H20・9・24
- ② 栄養課 管理栄養士
- ③ 笑顔で感謝の気持ちを忘れないよう心がけます。
- ④ アロママッサージ



いけだ れみ
池田 玲美

- ① H20・7・3
- ② 検診センター ドック事務
- ③ 笑顔を忘れずに！！
- ④ バレー・フットサル

よろしく
 お願い
 いたします。

- ① 入職日
- ② 所属
- ③ モットー (一言)
- ④ 趣味



当院では禁煙をすすめています。

喫煙者は口腔、咽喉、肺などのがんだけではなく、食道、肝臓、膵臓などのがんにもなりやすくなります。その他、肺気腫、心筋梗塞、脳梗塞など重大な疾患にかかりやすくなり、女性の場合、流産や早産の確率も高くなります。

また、たばこの煙には喫煙者が直接吸っている主流煙とたばこの先端から立ち上る副流煙とがあり、副流煙の方が有害です。たばこを吸わない人が、その副流煙を吸ってしまうことを「受動喫煙」といい、そのことにより吸わない人にまで健康被害を及ぼすこととなります。喫煙は自分自身の健康を損ねるだけでなく、周りの人たちの健康まで犠牲にしてしまうのです。

自分のためはもちろん、家族など周りの大切な人たちのためにも禁煙をお勧め致します。

外来担当医師一覧表

平成20年10月1日現在

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	消 化 器	小野 英樹	中島 仁典	橋永 正彦	中島 仁典	小野 英樹	中島 仁典
	内 視 鏡	橋永 正彦	小野 英樹	小野 英樹	橋永 正彦	橋永 正彦	(再 来)
	循 環 器	副島 和典	陣林 伯男	副島 和典	陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外 科	高松 祐治	柏木 孝仁	江口 大樹	古賀 裕	柏木 孝仁	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	血 液	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
消化器科 中島 仁典	消化器 肝臓病 内科一般
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
橋永 正彦	消化器 内科一般
循環器科 副島 和典	循環器 内科一般
陣林 伯男	循環器科一般

氏 名	専 門 領 域
外科 柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
高松 祐治	消化器外科 甲状腺外科 外科一般
古賀 裕	消化器外科 外科一般
江口 大樹	消化器外科 外科一般
呼吸器科 三重野 斉	呼吸器科一般

●外来受付時間

午前 8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前 9:00~12:00
 午後 2:00~ 5:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、
 年末年始 (12/30~1/3)



編集後記

国体の大分県開催は42年ぶり。大分県選手団も見事、総合優勝!! 今年の大分県はまさにスポーツの秋となりました。この勢いで、毎年食欲の秋を満喫している方も、今年はスポーツの秋を過ごしてみても!?メタボ予防のためにも!



広報委員

基本理念

地域医療への貢献

「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

1. 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
1. 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
1. 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
1. 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

患者様の権利

1. 患者様は、個人としての尊厳が守られ、だれでも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. 患者様は、医療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者様は、医療に関して十分な説明と情報の提供を受けた上で、自らの意思で治療の方法を選択する権利があります。
4. 患者様の個人情報、保護される権利があります。

患者様の責務

1. 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する責務があります。
2. 患者様は、ご自身が受けられる医療に関して納得できるよう質問する責務があります。
3. 患者様は、他の患者様の療養生活に支障を与えないよう配慮する責務があります。